

地域づくり通信

第18号
平成26年1月

子どもと地域がつながい・支えあっています！

地域では、ふるさとを大切にする心を育み、楽しいまちづくりに向けて様々な行事・イベントが行われています。一方で、少子高齢化が進むことなどによって担い手が不足し、子どもたちとのつながり・ふれあう機会が少なくなっていると言われています。

しかし、瀬谷区では、子どもたちが地域の担い手として活躍し、地域の人たちは子どもたちを見守り育みながら、お互いがつながり、支えあっています。本号では、子どもたちがお祭りや運動会など地域のイベントで活躍している事例や地域の人が子どもたちの安心安全のために見守っている事例など一部を紹介します。

子どもたちのチカラで
お祭りが! 地域が! にぎわう!



みんなでソーラン!ソーラン!!

7月に開催された「南部祭り」。阿久和小、原小、隼人中・高等学校の子どもたち100人以上が力強い「ソーラン」を披露し、お祭りを盛り上げました。地域の方からたくさんの拍手が沸き、「子どもたちがたくさんいると華やかで、とても盛り上がるね」といった声が聞こえてきました。

子どもたちと地域が手を取り合って活動しているよ!



せやまる

障害児と地域をつなぐ
交流フェスティバル!



いらっしゃい!おいしいパンあるよ~

瀬谷北部地区の人たちを中心に、障害児と地域とのつながりを深めることを目的とした「交流フェスティバル」が瀬谷養護学校で開催されました。

当日は、天候にも恵まれ屋外でのシャボン玉やスポーツイベント、体育館でのステージイベント、手作りパンの販売などを通して、障害児と地域の交流を深めました。

子どもが地域のお手伝い

子どもたちは、自治会町内会等の行事・イベントの準備など「地域の担い手」として、また、お祭りの出演などで地域を賑やかにする「元気の源」として活躍しています。

卒業生が受け継ぐボランティア

相沢小の「ふれあいスポーツフェスタ」は、地域、保護者、中学生と児童のふれあいを深めることをテーマに開催されています。相沢小を卒業し、中学生となった生徒が自主的にボランティアに参加し、当日の準備からゴール係、用具運搬係や片付けなどに大活躍！
その姿を見た相沢小の児童が卒業後もまた、ボランティアを受け継いでいきます！



小学生の時を思い出す みんながんばれ～！

開始当時から子どもたちがお手伝い

長屋門公園で、障害のある人と地域住民がふれあうことを目的として平成20年から開催されている「さとまつり」。「子どもたちから地域とつながりをもつことは成長過程においてとても大切」と開始当時から原中学生が「模擬店の売り子」や「ごみ分別収集のお手伝いさん」として活躍しています。



トマトはいかがですか～

総勢200名の生徒がお手伝い

瀬谷第二地区で実施している「ふるさと祭り」に下瀬谷中学校の総勢約200名の生徒が準備や片づけを毎年行い地域のお手伝いをしています。

地域からは「中学生の皆さんが地域行事に参加することで活気が生まれるとともに地域の一員として素晴らしい体験になっていると思います。」との声がありました。



お祭りの会場をみんなで準備！！

子どもを見守る・育む地域

地域の人たちは、子どもたちが元気よく成長し、安心・安全に登下校できるよう子どもたちを見守っています。

子どもたちの安全を見守る「児童安全見守り会」



“ただいま！” “おかえり”

「三ツ境小学校児童安全見守り会」は、平成18年度から学校周辺の21の自治会が協力し、横断歩道やT字路など通学路で子どもたちの声掛けや見守り活動をしています。

「おかえり」「ただいま！」と、見守り会の人と子どもたちが笑顔で挨拶を交わしています。学校では、見守り会の人たちを「感謝の会」や「一緒に給食を食べる会」に招待し子どもたちと“きずな”を深め、地域・学校が連携し子どもたちを育てています。

子どもと地域の つながり・支えあい

「あいさつ運動」で誰もが顔見知り



あいさつ運動実施中！

南瀬谷地区では「あいさつ♥いっぱい♥みなみせや」を合言葉に「あいさつ運動」を実施しています。

大人が子どもたちに積極的にあいさつ声掛けを行うだけでなく、子どもたちも元気にあいさつをして、誰もが気軽に声をかけられる顔見知りの関係をつくるための活動しています。

子どもと地域が支え合って
良い関係が生まれているね



せやまる

子どもたちを見守る「愛のパトロール」

宮沢地区では、「子どもは地域の鏡。しっかりと見守っていきたい」という気持ちで、夏休みの期間中、夜間に「愛のパトロール」を行っています。

このパトロールは青少年指導員だけではなく、民生委員・児童委員、女性地域安全委員、南瀬谷中PTA、南瀬谷中・南瀬谷小の先生など地域ぐるみで取り組んでおり、子どもたちの見守りに力を入れています。



子どもたちが危険な目に
合わないよう見守るゾ！

学校から見る子どもと地域

子どもたちの成長や子どもと地域とのつながりを深めるため、子どもたちと地域のきずなづくりの後押しをしている学校。紙面で紹介した学校の中から3人の校長先生の声をいただきました。

～ 地域の方の声掛けが、子どもたちの自尊感情を育む～

地域の方々には、いつも子どもたちの安心・安全のために活動していただき本当に感謝しています。また、下校の様子を見守りながら、「お帰りなさい」「今日も元気かい？」と声をかけてくださることが、子どもたちに「自分は大切にされているんだ」という自尊感情を育むことにもつながっています。これからも、子どもたちへの声掛けをよろしくお願いします。



三ツ境小学校立田校長先生

～ ボランティアは地域と学校を結ぶ架け橋～



原中学校高橋校長先生

本校では、毎年約300名以上の生徒が地域の活動に参加しています。各行事のお手伝い、園児との交流、境内の枝切りなど内容は様々です。参加した生徒は、地域の方々とふれあい、人の役に立てたという体験を通し、自己有用感を育まれ、成長していきます。まさにボランティアは地域と学校を結ぶ架け橋となっており、今後も地域のために活動できる生徒を増やしていきたいと思えます。

～ 障害への更なる理解と協力を～

障害の有無に係わらず、誰もが地域で心豊かに暮らせるように、地域が主体となって「交流フェスティバル」が開催されています。真っ正直で一生懸命な子どもたちや愛情いっぱい子育てをされている保護者と心通わせて、障害へのご理解、ご協力を更に深めていただけたらと思います。地域のみなさまの見守り、ご支援に感謝しています。



瀬谷養護学校鈴木校長先生

【お問い合わせ先】

瀬谷区区役所区政推進課
地域力推進担当

TEL 367-5789

FAX 365-1170

E mail:se-chiikiriyoku@city.yokohama.jp

編集後記

今回、取材するにつれ、各地域・学校で「子どもと地域とのつながり」を大切にしている姿が見て取れました。

紙面作成にあたり、取材にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

今後も、地域の様々な活動取材し、発信していきます。次回は3月発行予定です！お楽しみに！！